

KENZAI NAVI Journal



日本女子大学 学長

篠原聰子

永山祐子建築設計 主宰

永山祐子

SPECIAL FEATURE INTERVIEW

建築の 新たな価値観に フォーカス

都市建築において目指すもの、
それは木材の復権

東京木材問屋協同組合 理事長

庄司良雄

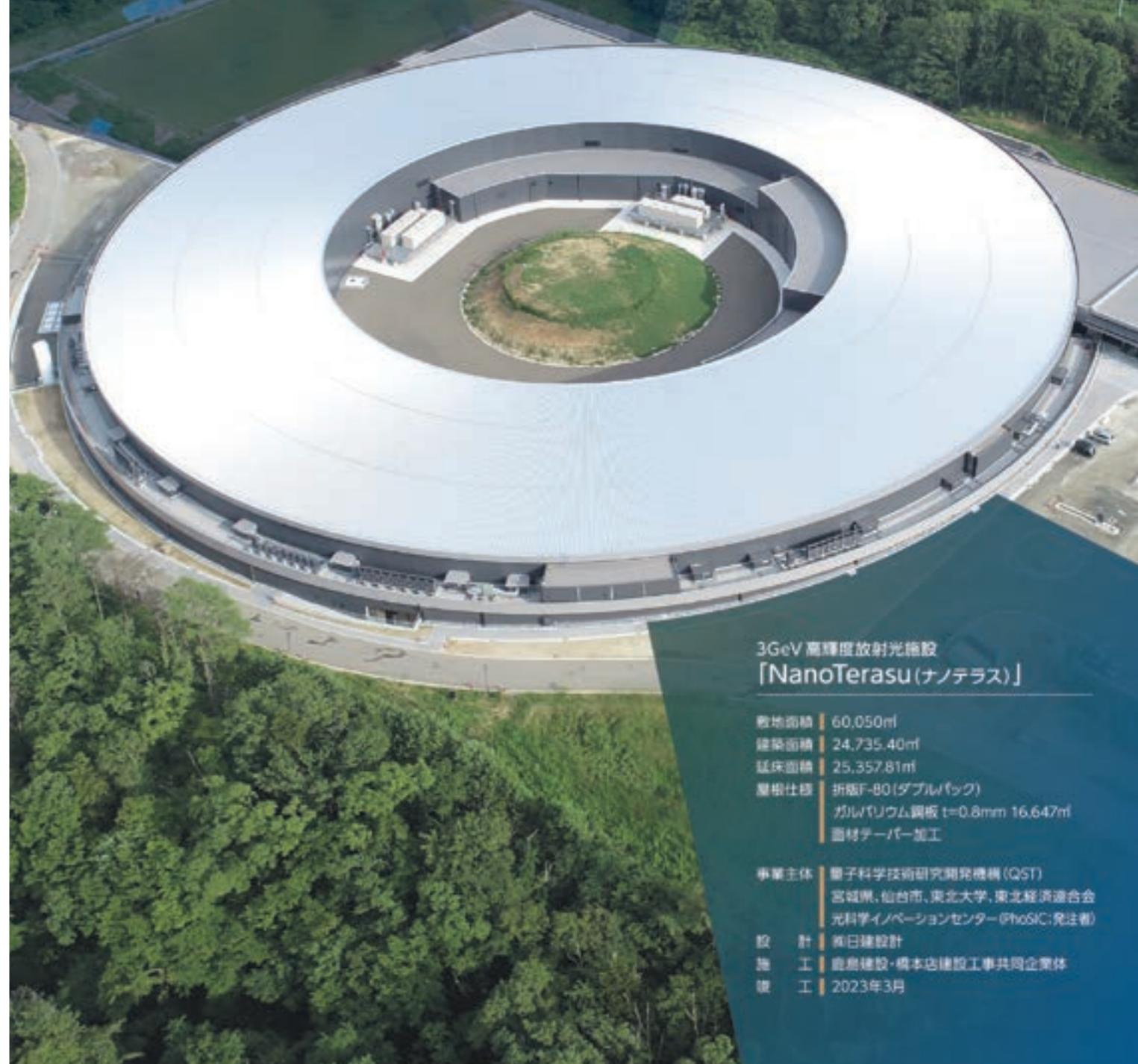


美しい屋根には、
美しい未来がある。

計2,240枚からなる3GeV高輝度放射光施設の屋根。

科学の進歩、地域の発展を、

高い断熱性能の屋根材が支えていく。



3GeV高輝度放射光施設 [NanoTerasu(ナノテラス)]

敷地面積	60,050m ²
建築面積	24,735.40m ²
延床面積	25,357.81m ²
屋根仕様	折板F-80(ダブルWイック) ガルバリウム鋼板 t=0.8mm 16,647m ²
木材データー加工	

事業主体
量子科学技術研究開発機構 (QST)
宮城県、仙台市、東北大、東北経済連合会

元科学イノベーションセンター (PhoSiC:発注者)

設計
新日建設
施工
鹿島建設・構本建設工事共同企業体
工
2023年3月



三晃金属工業株式会社

本社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-13-23 MS芝浦ビル11F
TEL:03-5446-5600 (代表) <https://www.sankometal.co.jp/>



CONTENTS

04 SPECIAL FEATURE INTERVIEW

既存の殻を打ち破り、「デザイナー目線」から生まれた、

建築の 新たな価値観に フォーカス



06 経年変化さえ趣となり愛着が生まれる建築 ——それが究極のサスティナブル

永山祐子建築設計主宰／一級建築士 永山祐子

12 成功のカギは「仕事への当事者意識と周囲を巻き込む力」

日本女子大学学長／建築家 篠原聰子

18 PROJECT STORY

出会いと創造

20 家族みんなが楽しめるショールームの目玉として「遊び環境」を採用

株式会社シアーズホーム×株式会社アネビ

22 改修工事現場における、安全・安心・美観を追及

株式会社国藤産業×中央ビルト工業株式会社

24 MANUFACTURER 新たな時代に適応する解決策を、多様な選択肢から

26 装飾材に「曲がる」という画期的なインセンティブを加える

みはし株式会社

28 和紙づくり職人を大切にし日本の伝統文化を届ける

株式会社和紙来歩

30 シリーズ座談会【前編】東京木材問屋協同組合

都市建築において目指すもの、 それは木材の復権

木材のやさしさ・強さ・美しさを具現化して魅せます

東京木材問屋協同組合 理事長 庄司良雄



34 INFORMATION

建材ナビ&かたなび

LIVING DESIGN CENTER OZONE

建築・インテリアのプロが商品探し・情報収集に活用できる

リビングデザインセンターOZONEは、建材や金物、家具のショールーム・ショップが約30集まる、建築・インテリアの情報センター。建築設計やインテリアの仕事に携わるプロの方々にご活用いただいています。

01

商品を実体感できる

SHOWROOM / SHOP

無垢・複合フローリング、内外装タイル、デザインガラス、金物など約30のショールーム・ショップを構え、商品の機能性や素材感をひとつひとつ体感することができます。ご要望に応じて、商品やショールームをご案内するツアーも開催しています。



02

比較・検討できる

OZONE CATALOG LIBRARY

建材・住宅設備・家具など、様々なメーカーのカタログやサンプルブックを閲覧できる【OZONEカタログライブラリー】を自由にご利用いただけます。カタログやサンプルブックはカテゴリー別に分類され、各メーカーの特色に触れながら、商品の比較・検討ができます。



03

最新情報を収集できる

MAIL MAGAZINE

ショールームの商品情報はじめ、イベントやセミナー、OZONE カタログライブラリー出展メーカーの製品情報などをいち早くお届けします。



永山祐子

素材の製作現場は
クリエーターにとつて
「宝の山」



SPECIAL FEATURE Interview 建築の新たなる 価値観にフォーカス

既存の殻を打ち破り、「デザイナー目線」から生まれた、

人々が集まり五感で心地よさを感じる居場所づくりを実践する注目の建築家、永山祐子氏。120年以上にわたり日本の女子高等教育をリード、けん引してきた日本女子大の学長でもある建築家、篠原聰子氏。お二人の女性建築家に、日本の建築における新たな価値観の創出と提案、建築の持つ秘めたるパワーを引き出し、エナジーに換え、未来に貢献する独自の手法などについてそれぞれ、お話を伺いました。

篠原聰子

日本女子大学 学長
建築家

建築デザインが示す、
新たな視点
「ジェンダー・キャンセル」



建築デザインが示す、
新たな視点
「ジェンダー・キャンセル」

の中に入れる素材を探しに……。そういうことがとても大事だと思います。プロジェクトメンバー皆で森に行き、実際に枝を入れてそれらも素材の中に入れ磨きをかけてもらう、こう使おうとかあ使おうとかを考える、そこにマテリアルを決めまるまでのストーリーが生まれるわけですが、そのストーリーをお客様にもとても喜んでいたときました。

例えばこれはうちでデザインしたテーブルなのですが、テラゾーに使わなくなつたタイルを入れて磨いてもらいました。テー



上：情熱大陸でも登場した山の中でのマテリアル取集
下：収集したマテリアルを使用した松坂屋名古屋店ラウンジ。
この施設の内装は全て手掛けしており多治見のタイルなども使用している。

ブルの素地部分や床のベースにもりサイクルガラスを入れることでストーリー性を込められたと思っています。タイルは全てオリジナリで一からデザインしたもの、愛知県多治見で作ったものです。

特に最近はこのように、マテリアルの中にもプロジェクトとしてのストーリー性が求められようになり、ちょっと贅沢なで全部が全部というわけにはいきませんが、一からオリジナルで作ることも多くなっています。このように語り継がれるようなストーリー性があることで、

素材の製作現場は
クリエーターにとつて
「宝の山」

愛着が生まれ大切にしてもらえると、スクラップ&ビルドといふことにはならず、サステイナブルな空間として長く大事にしでもらえると思うのです。

秋葉 永山先生の作品を拝見する、普段素材メーカーさんが意図している使い方を越えた意図がついているようですね。

永山 そうですね、メーカーさんが思つてはいる「良い」という感覚と私たちが思つてはいる「良い」という感覚がもしかしたら少し違つてゐるかも知れませんね。例えば、先日（2023年6月）YAMAGIWAさんから私がデザインした照明が販売されたのですが、それは真鍮やアルミで逐次成形といって、特殊な成形方法で特殊なノズルを3次元的に押し当てながら形を作つていくのですが、その形の作りの特徴で金属が最後、くるつと曲がつてしまつたのです。これは失敗しましたと持つて来られたのですが、私はすごくい

なと思いました。少しだけクルンと曲がる、この曲がる感じが一つ一つ表情が違つており、3次元逐次成形という新しい技術の中に生まれた「手仕事感」が新鮮で、そのまま採用にしました。

今思えば、失敗を生かすうと、何か可能性というか面白さが、私たちの考えは、メーカーさんにとっても発想を180度転換するきっかけとなり、そこには何か可能性というか面白さが広がるのを感じます。製作の現場に行くとよく魅力的なものに出会います。たとえ捨ててあるものでさえ私たちにとっては宝物かもしれないのですから（笑）。



FUWARI（株式会社 YAMAGIWA）
シェード製作を担当。逐次成形という特殊な製法により生まれる内側にくるんと巻いた独特のカーブは、1点1点僅かに異なる形となっている。

※ IF デザインアワード：ドイツ・ハノーバー工業デザイン協会が毎年主催する、世界の優れたデザインを選定するデザイン賞。アメリカの IDEA 賞、ドイツのレッドドット・デザイン賞となる世界3大デザイン賞の一つ。

Column 循環のデザインにのせ、 サスティナブルを実現



Tokyo Midtown DESIGN TOUCH2022 うみのハンモック

海の波のように見える連なるハンモックとタープの素材は、廃棄された漁網をリサイクル。タープの下で自然環境に意識を巡らせてほしいという想いから生まれた作品。



2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）
パナソニックパビリオン「ノモの国」

循環を表すモチーフが集まり、ファサード全体を形成することで「私たちも循環する世界の一部」であることを象徴。サスティナブルとウェルビーイングを取り入れ、素材やエネルギーの循環を肌で感じる建築とすることで来場者の感覚に訴えかけます。

というキーワードはとても重要であると感じます。最近行つたドイツの IF デザインアワード※の授賞式では、審査でもサステイナビリティは重要な項目であり、そういう考えがしっかりとベースにあることが当たり前となっています。その上で美しさ、楽しさ

また、海外ではサスティナブルの授賞式では、審査でもサステイナビリティは重要な項目であり、そういう考えがしっかりとベースにあることが当たり前となっています。その上で美しさ、楽しさ

があることが問われます。私は、建築におけるサステイナブルは何ですかとよく聞かれることがあるのですが、先ほどの話したようにやはり愛着を持って、長く大切にされる建物を作れば、すぐに壊されることがなく、一番のサステイナブルだと思っているのですが、割れたものを入れているので思わぬ形が見えてきていて（笑）。廃材をこんな使い方したら、こんなに美しくなった、その上ストーリー性もある、そういう何か予定していない掛け合せに出会えた時に、すごく楽しいなと思います。

永山 最近、廃材利用を積極的に取り組んでいて、先ほどお話をした廃タイルも、普通のタイルをただ入れただけでは、ああいう変わった形状で見えてこないのですが、割れたものを入れているので思わぬ形が見えてきていて（笑）。廃材をこんな使い

があることが問われます。私は、建築におけるサステイナブルは何ですかとよく聞かれることがあるのですが、先ほどの話したようにやはり愛着を持って、長く大切にされる建物を作れば、すぐに壊されることがなく、一番のサステイナブルだと思っているのですが、割れたものを入れているので思わぬ形が見えてきていて（笑）。廃材をこんな使い

何か違つた形に変換しようと思ふます。私は、建築におけるサステイナブルは何ですかとよく聞かれることがあるのですが、先ほどお話をしたようにやはり愛着を持って、長く大切にされる建物を作れば、すぐに壊されることがなく、一番のサステイナブルだと思っているのですが、割れたものを入れているので思わぬ形が見えてきていて（笑）。廃材をこんな使い

秋葉 建材を探す際に何を重視して検索しますか。また、検索した製品を採用する決め手はどんなところでしょうか。

永山 毎回、うちのスタッフも検索して探すのですが、検索ワードのセンスをより磨かなくてはと思います。何の言葉を入れるのかを考え、また海外サイト

も探すので英語で入れてみるなど、私もネットサーフィンしつつ、意外とアタリを引くつて自分で思つてはいるのですが（笑）。私はがサンプルとして送られてきて、サンプルの段階で素敵だなと思って、実際の大きさ、シ



Column

東急歌舞伎町タワーの設計では、3Dを活用し全体を確認

東急歌舞伎町タワー

先日、設計した東急歌舞伎町タワーのようなオーバースケールのものは特に、模型でも部分的に1分の1モックアップを見ても想像しきれない部分もあるので、全て3Dで立ち上げ、都庁側から、または大久保側から見た光景、そして電車に乗っている時に見える光景など全体の見え方を確認ができます。マテリアルを選定する段階ではそういう3D検討やVR検討を入れるのが主流になってきています。ただ、それはあくまで全体把握の為で、本物のマテリアルの質感を実際の光で見るなどのテストは重要です。

INTERVIEWER

【取材】
秋葉 早紀 (あきは・さき)
建材ナビ広報担当
二級建築士

マテリアル選びの考え方など、想像力や発想にとても感銘を受けました。魅力的な場所を生み出す永山先生のこだわりの凄さと、人を惹きつける魅力を感じました。



秋葉 本日は貴重なお時間をいただきまして、本当にありがとうございます。色々と興味深いお話を伺いできて大変愉しかったです。

秋葉 本日は貴重なお時間をいただきまして、本当にありがとうございます。色々と興味深いお話を伺いできて大変愉しかったです。

チュエーションで使うとイメージが違ったりします。施工例を見たり、今だったらかなり忠実なCGで起こしたりもできるので、最終的に使った時のイメージやスケールを様々な方法でシミュレーションをします。光との組み合わせは特に大切です。昼間に外部で見たり、様々な色温度の照明を当てて夜の状況を確認したりと自分たちで实物で実験しています。事務所は色温度や照度がコントロールできる照明を使ってるので実際の照明のシミュレーションに合わせてどこでも実験ができるようになります。マテリアルを選定するための大変なプロセスですので、実験をメーカーさんがサポートしていただけたと嬉しいなと思います。

秋葉 素材の使い方で、シミュレーションができるといいですね。

永山 今だったらCGパースで、この素材をここに使い、あの素材を使つたらこんな空間になりますよななどが簡単に着せ替えのようになりますよね。海外のサイトだと家具の色などサイ

ト上でパッて変えたりして、素材の組み合わせも自由自在、そういった工夫をしているのは特にアントにプレゼンするのにサイトに用意された3D素材をプレゼンベースに入れることができます。そういう3D用の素材をどこかに置いておいても、もう、だけでもすごく助かります。今3D検討は不可欠になつてます。VRによって実際にその空間に入り、歩き回ることができ、以前よりさらに体感的な検討ができるようになりました。

秋葉 先生が建築家として、未 来に向け発信したい、社会にこんな影響を与えるたいというものがあればお話しください。

秋葉 先生が建築家として、未 来に向け発信したい、社会にこんな影響を与えるたいというものがあればお話しください。

永山 そうですね。先ほどもお話ししたように、今はバーチャル空間でオンラインミーティングなども増えており、それはそれで

くださるというのが毎日の習慣のようです。そういう場所が作れたというのはすごく嬉しいなと思いました。家では誰ともコミュニケーションを取らないよう

な一人暮らしの方などが気軽に立ち寄れる場所、ただそこに座ってそこに集まる人々を眺めるだけでも言葉を交わさなくてもある種のコミュニケーションが生

度の照明を当てて夜の状況を確認したりと自分たちで实物で実験しています。事務所は色温度や照度がコントロールできる照明を使ってるので実際の照明のシミュレーションに合わせてどこでも実験ができるようになります。マテリアルを選定するための大変なプロセスですので、実験をメーカーさんがサポートしていただけたと嬉しいなと思います。

秋葉 素材の使い方で、シミュレーションができるといいですね。

永山 今だったらCGパースで、この素材をここに使い、あの素材を使つたらこんな空間になりますよななどが簡単に着せ替えのようになりますよね。海外のサイトだと家具の色などサイ

ト上でパッて変えたりして、素材の組み合わせも自由自在、そういった工夫をしているのは特にアントにプレゼンするのにサイトに用意された3D素材をプレゼンベースに入れることができます。そういう3D用の素材をどこかに置いておいても、もう、だけでもすごく助かります。今3D検討は不可欠になつてます。VRによって実際にその空間に入り、歩き回ることができ、以前よりさらに体感的な検討ができるようになりました。

秋葉 先生が建築家として、未 来に向け発信したい、社会にこんな影響を与えるたいというものがあればお話しください。

永山 そうですね。先ほどもお話ししたように、今はバーチャル空間でオンラインミーティングなども増えており、それはそれで

人が外に出るきっかけとなるに散歩に行きたくなったりすると思うのです。私は以前、群馬県の前橋市でJINS PARKというものを作ったのですが、そのパークにあるお店の方に聞いたエピソードで私がとても好きなお話をあります。お店の方に

JINS PARK 前橋

アイウェアブランドJINSのロードサイド店舗の設計。眼鏡だけでなく、美味しいパンやコーヒーを販売したり、地域住民が主催するマルシェやトークイベントを開催したりと、公園の広場のような場所になることを想定している。



©阿野太一 + 楠瀬友将

非常に便利だなと思います。しかし、私達はリアルな空間を作れる立場の人間ですので、やはり魅力的なマテリアルや、五感に訴えかけるような空間などを作り、なるべくそこに人が集まり、アクトライブに動き回ってもらいたい。社会がそういう未来像になつて行ってほしいなと思います。

ト上でパッて変えたりして、素材の組み合わせも自由自在、そういった工夫をしているのは特にアントにプレゼンするのにサイトに用意された3D素材をプレゼンベースに入れることができます。そういう3D用の素材をどこかに置いておいても、もう、だけでもすごく助かります。今3D検討は不可欠になつてます。VRによって実際にその空間に入り、歩き回ることができ、以前よりさらに体感的な検討ができるようになりました。

秋葉 先生が建築家として、未 来に向け発信したい、社会にこんな影響を与えるたいというものがあればお話しください。

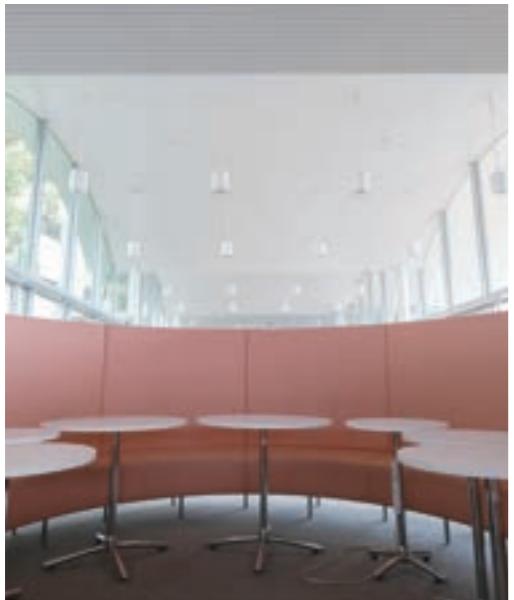
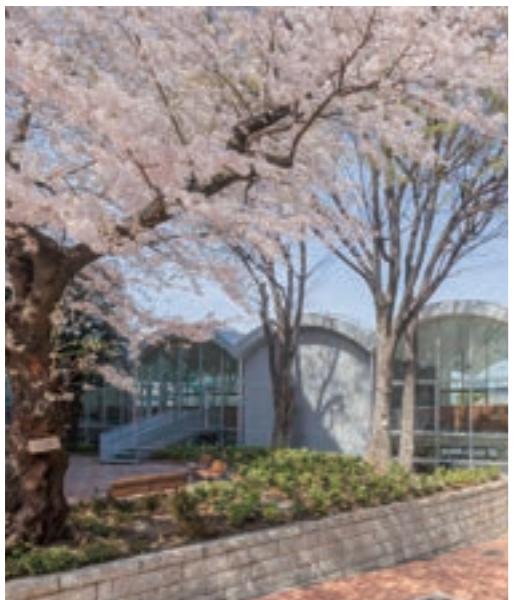
永山 そうですね。先ほどもお話ししたように、今はバーチャル空間でオンラインミーティングなども増えており、それはそれで

人が外に出るきっかけとなるに散歩に行きたくなったりすると思うのです。私は以前、群馬県の前橋市でJINS PARK

というものを作ったのですが、そのパークにあるお店の方に聞いたエピソードで私がとても好きなお話をあります。お店の方に

のバーカーにいるお店の方に聞いたエピソードで私がとても好きなお話をあります。お店の方に

©阿野太一 + 楠瀬友将



杏彩館（きょうさいかん）

曲線的なソファーで個々のスペースを確保し、友人との対話を楽しんだり、一人で静かに過ごしたり、自由に利用することができる。ミーティングスペースには、プロジェクターを配備し、ミニイベントの開催も可能。軒下のスペースには、キッチンカーナなどの乗り入れもできる。

一人ひとりの未知なる可能性を引き出し、知性と個性に磨きをかけ、自分らしく生きるための一歩を踏み出す力を養う。120年以上にわたり、日本における女子高等教育をリードしてきた日本女子大の教育理念を、建築デザインという分野で自ら実践、結果し、次世代へと繋ぐ篠原学長の熱い思いを伺いました。

成功のカギは 「仕事への当事者意識と 周囲を巻き込む力」

これまで住居学科は非常に多くの建築家を育ててきました。ただ、家政学部住居学科というものがその名前が故に、ある一つの括りの中で見られてしまうのは、少し残念だなと思うことがあります。建築デザイン学部では家政学部の住居学科として大切にしてきたヒューマンスケールやアイレベルといった、実物大の感覚というものを持続しながら、より広い領域で活躍するイメージを持ってほしいのです。実際にカリキュラムにはグローバルな要素や、コンピューションのデザイナーのアドバイスを取り入れたり、デザイン系の先生を補強するなど、住居学科としても取り組んできました。加えて、元來の住居とい

れるなど家政学部は常に進化を遂げてきました。そして、30年前に理学部は家政学部の中から独立しています。

来年はいよいよ建築デザイン学部ができますが、家政学部の中で、より専門性を高めるためのリコンストラクションに至ったわけです。

これまで住居学科は非常に多くの建築家を育ててきました。ただ、家政学部住居学科というものがその名前が故に、ある一つの括りの中で見られてしまうのは、少し残念だなと思うことがあります。建築デザイン学部では家政学部の住居学科として大切にしてきたヒューマンスケールやアイレベルといった、実物大の感覚というものを持続しながら、より広い領域で活躍するイメージを持ってほしいのです。実際にカリキュラムにはグローバルな要素や、コンピューションのデザイナーのアドバイスを取り入れたり、デザイン系の先生を補強するなど、住居学科としても取り組んできました。加えて、元來の住居とい



日本女子大学 学長
建築家

篠原聰子

PROFILE

（しのはら・さとこ）日本女子大学 学長／建築家
千葉県生まれ。日本女子大学家政学部住居学科卒業後、同大学大学院修士課程修了。香山アトリエを経て、空間研究所主宰。1997年から日本女子大学で教鞭を執り、現在、日本女子大学家政学部住居学科教授、2020年より同大学学長。文理融合の学びを提供する女子総合大学として、学部学科再編を伴う「大学改革」を推進する。

日本女子大学

東京都文京区自白台 2-8-1
03-3943-3131



住宅という概念を破り、
より広い領域で考える

秋葉 2024年4月から、建築デザイン学部が日本女子大に開設されますが、開設のプロセスなどについてぜひお話をお聞かせください。

篠原学長 本学は、家政学部の中に、住居、児童、食物、被服、家政経済といった様々な学科があり、122年前の創立の頃より文理融合の学びを提供していました。

当時より理系的な要素から芸術的な要素まで色々なものが家政学の中に内包されており、「女性をつけてどうするんだ」という明治の時代において、いや、女性が学問をやることは家族を大切にし、家を守るということに貢献するのだと男性たちを説得する大義名分を創立者の「成瀬仁蔵」が作ったのではないかとさえ思います。

さらに、成瀬は医学部も作る構想を持ち、今の住居学科へつながる工学的理学的な要素を入

住環境というものをもう少し広い領域で考えるべきだうといふ思いもあります。

「建築デザイン」が誇る
ソフトの力

日本の

秋葉 日本人はもちろん、建築
デザインを学びたいという海外
の学生さんも増えていると伺いましたが。

篠原学長 日本に留学したい学生は、かつての高度経済成長の時代とはまた違った人達が希望しているようです。例えば、文化やデザインなどを日本の成熟した環境の中で学びたいという人も多く、建築デザインという領域は、日本が世界に誇れる領域なのではないかなと思っています。

秋葉 日本人はもちろん、建築デザインを学びたいという海外の学生さんも増えていると伺いましたが。篠原学長 日本に留学したい学生は、かつての高度経済成長の時代とはまた違った人達が希望しているようです。例えば、文化やデザインなどを日本の成熟した環境の中で学びたいという人も多く、建築デザインという領域は、日本が世界に誇れる領域なのではないかなと思っています。

篠原学長 そうですね、設計スタジオに関してさらにメンバーを補強しながら充実させていることです。そして、海外に出ていくプログラム、それも単に海外における建築を見学するツアーではなく、海外の学生と協働して取り組むプログラム

秋葉 今回開設される建築デザイン学部では、特に力を入れたい、充実させたいとするカリキュラムやプログラムはござりますか。

篠原学長 そうですね、建築デザイン学部では、特に力を入れたい、充実させたいとするカリキュラムやプログラムはござりますか。

秋葉 日本女子大での教育を通して、学生さんに最も学んで欲しいことは、

篠原学長 建築家も含め「デザイナーを育てたいと思っています。デザイナーというのは、様々な状況に対してオーナーシップ、つまり当事者意識を持つて的人だと思っています。自分が与えられた環境の中で、受け身になるのではなく、自分が関わることでそれを変えられる、より良く思っています。

秋葉 する、楽しくする、豊かにするということを考える力やイメージできる力を身につけてほしいと思います。



建築総合演習の授業

建築デザイン学部のコンセプトは、「建築でかなえられることのすべてを。」

伝統ある家政学部住居学科の教育、「利用者や居住者の立場から考える」を拠り所にして、住居・建築・都市など、住生活を含む「環境」を様々な視点から理解し、デザインできる専門性の高い人材の育成を目指す。

ムを充実させたいですね。本学では建築総合演習と呼んでいますが、つまりグローバル・デザインスタジオというべきもの構築するためにはやはり、語学教育や建築英語という科目も必要になります。これからは、海外の仕事をすることがあ

る意味必須な時代になりますから、教養として語学を習得するというよりは、海外の人とのコラボレーションのための語学力を身に付けることで相手に対する理解を深めつつ、コミュニケーション能力を磨いて行ければよいと思います。

秋葉 建築デザインが示す、とは

「ジェンダー・キャンセル」

秋葉 建築界での女性進出についてのキーワードについてどのように対応されていますか。

篠原学長 最近の女子大学への逆風というか、なかなか厳しい中でも女子大というのはやはり強いキャラクターだと私は思っています。女子大生は4年間を伸び伸び学べますから、当事者意識もあり、どんな立場であっても、その事態に前向きに取り組める、自分事として取り組める、という姿勢が身に付くと思

語学は教養科目でも学びますが、やはり建築の話が英語でできないと駄目なので、建築英語という科目を作り、建築業界におけるテクニカルな表現も身につけてもらおうと思っています。

私はシェアハウスや集合住宅などを多く手掛けていますが、だから男女の区別を取り払う、いわゆるジェンダー・キャンセルの役割を持っていたということでも使う場合もある、ということは今まで女性目線一辺倒と刷り込まれたジェンダーという問題から男女の区別を取り払う、いわゆるジェンダー・キャンセルの役割を持つていて、女性目線で作られてきたと思うのです。

シェアハウスが面白いのは、そここのキッチンは女性だけでなく色々な人が使う、一度に何人でも使う場合もある、ということはないかと思います。

今は、家庭科も男女共修になりますが、男の人たちも普通に台所に立つし、家事もやります。職場でも「育休をどれ」と言われてますし、だいぶ昔とは変わってきたと思います。女性が仕事を続けて行く上で、結婚や出産、育児、加えて親の介護なども対処する必要が出てきます。これは自分がけの責務だと思わなくていいと思います。皆を巻き込んでいいと思います。皆を巻き込んだらいいし、家族を巻き込

います。

秋葉 建築界での女性進出についてのキーワードについてどのように対応されていますか。

篠原学長 最近の女子大学への逆風というか、なかなか厳しい中でも女子大というのはやはり強いキャラクターだと私は思っています。女子大生は4年間を伸び伸び学べますから、当事者意識もあり、どんな立場であっても、その事態に前向きに取り組める、自分事として取り組める、という姿勢が身に付くと思



百二十年館

設計は、日本女子大学卒業生で世界的に活躍している著名な建築家の妹島和世氏。創立百二十周年記念事業の一環として、2021年2月に竣工。1階・地下1階は、大中小の合計23の教室とJWUラーニング・コモンズなどで、2・3階は、教育学科を除く人間社会学部の研究室がある。地下のパティオは、学生の憩いの場であり、また学生の発表の場としてのイベントスペースとなっている(13ページ写真の杏彩館、17ページ写真の図書館も妹島氏の設計)



圖書館

図書館は地上4階・地下1階建てで2階が入り口となり、日本女子大学図書館の特徴である「全開架式」を継承し、利用者は全ての書架に直接アプローチできる。館内はスロープや吹き抜けがある構成で、お気に入りの場所で資料を広げて学習や研究ができる。

篠原学長 やはり学生は一人ひとり違います。何も言わなくてどんどん気付いて積み上げていけるタイプ、立ち止まってじっくり考えるタイプ、色々な学生がいるので、それぞれの何か特性を見出して、良さを発見していかないといけません。毎年新しい学生が入つて来ますから、ルーティンと捉えず、面白いと思ってるので教員を続けられているのかもしれませんね。学生には、やはり何事にも好奇心を持つて欲しいと思います。好奇心が、クリエーション、想像力に繋がつていくためには、

ています。元々センスがあつて何か綺麗なものができるという人は、そこそこはいくのですが最終的に建築として何か意味あるものを作るとすれば、それはやはり努力と経験から生まれるやうな感性と努力を諦めないひらめきが必要です。ひらめく柔らかい感性と努力を諦めないタフネスを持ち続けてほしいなと思ひます。

また、これからは建築を学ぶ人が単に図面を引くだけではなく、街づくりや人々が集まる居

INTERVIEWER

〔取材〕
秋葉 早紀 (あきば・さき)
建材ナビ広報担当
二級建築士

建築業界での女性の活躍が増えているなかで、日本女子大学生の活動や将来の活躍に注目したいです。働く女性として、仕事に対する考え方や目指しているものに、とても感銘を受けました。



を学ぶ女子学生さん達が、人のつながりや心地よい居場所づくりに大いに興味を持つて学習に取り組んでいただけたら、文字通りに「住みよい社会」の構築に貢献してくれるこそでしょう。本日は、大変興味深いお話を伺いることができました。心より感謝申し上げます。

あり、現場でのやりとりがあつて、というコラボレーションのフローがあるわけです。建築では特に巻き込む力を養うことの大切になります。

秋葉 篠原先生が建築家としてお持ちの信条やエピソードなどをお聞かせください。

篠原学長 私にとって何のため

に建築を作るかといえば、同じ家族の中でも異なる価値観やある人々が建築を共有し、共に住めるスペースを提供するためではないかと考えています。共に有する場所をデザインでコントロールするのが建築ではないかと、ずつと思っていました。

ルームマンションの設計をしており、その内それが次第にデザイナーズマンションと呼ばれるようなスタイルに変わつて行き klientアントであるオーナーさんは個人住宅の場合と違い、きれいに格好よく作つてあれば、利回りもいいし文句も出ません。それと同時に、そこに住む单身者の暮らしの様子、人との出会い

い方、生活圏の範囲などの調査を始めたのですが、特に実りのある調査結果も得られないなど思っていたころに、「シェアハウス」というものが出てきたので、その調査を始めたところ、これは面白いということになりました。異なる属性の人が、一緒に気持ちよく共存していくために、建築はどうあるべきなの

Column

篠原学長主宰

「空間研究所」の シェアハウスデザイン



SHAREteniincho

一般的に、プライベートな空間となるマンションのテラスが、階段によって連続することで、コモンスペースへと変わる。それが、建物の顔ともなり、ただの避難階段を超えた、住人のための立体的な庭となる。



SHAREvaraicho

鉄骨造の大きな箱の中に、4つの小さな箱が入り込んだようなつくりを持つ。大きな箱はテント膜によって、近隣から隔てられ、視界は遮りながらも、柔らかな光が内部に差し込む。それぞれの箱の間には、大小の空隙が設けられ、その間を空気や音が通り抜けたり、ものが置かれるスペースとして使用されたりする。



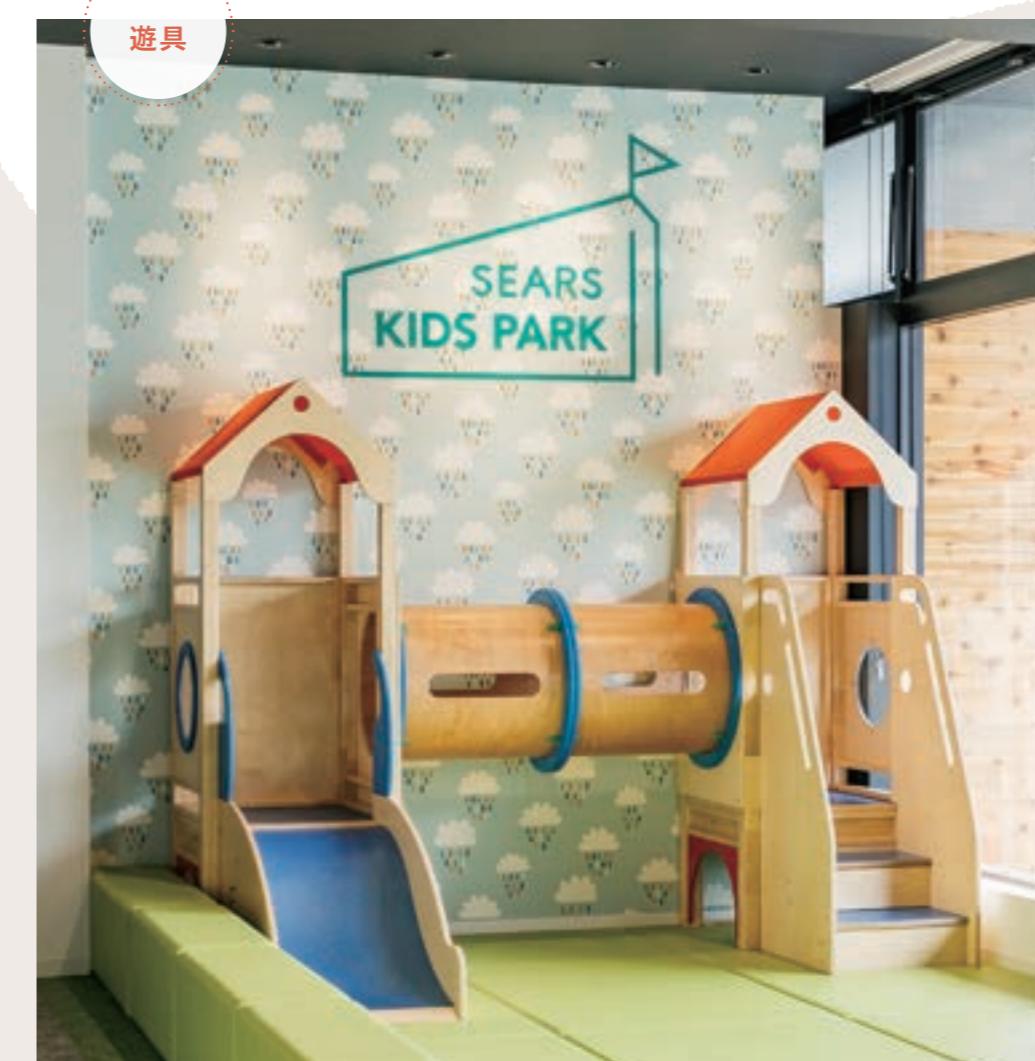
建築家と建材メーカーはどのようにしてマッチングに至ったか。プロジェクトはどう完結したか。建材ナビを通じて知り合った、建築家と建材メーカーの両者にインタビュー。知り合ったいきさつ、施工案件の内容、施工のコンセプト、材料の選定と提供など、現場のリアルをたっぷり語って頂きました。建材ナビのインタビューコンテンツ「すまいリング」でも同時紹介しています。

PRODUCT
養生
フェンス

VOL. 15

改修工事現場における、
安全・安心・美観を追及

株式会社国藤産業 × 中央ビルト工業株式会社

PRODUCT
遊具

VOL. 14

家族みんなが楽しめるショールームの
目玉として「遊び環境」を採用

株式会社シアーズホーム × 株式会社アネビ

建物の総合リフォームを中心に関東近県で多数の実績を積み重ねている株式会社国藤産業の後藤氏と、お客様の声に耳を傾け、安全で高品質な製品を提供し続ける中央ビルト工業株式会社の沖氏と田村氏のプロジェクトストーリー。マンションやビル等の改修工事を行う際の安全性と防犯にいいフェンスを探して出会った「スカイフェンス」について、両者の出会いから施工に至るまでのストーリーを語って頂きました。

そこに住まう方々の家族の笑顔が溢れる家づくりを目指し、それぞれの家族に寄り添ったプランを提唱する株式会社シアーズホーム・シアーズヴィレッジ店長の小副川氏と、安全性や品質が高いだけなく、遊びの価値や機能性を満たした遊具を提案する株式会社アネビーの古賀氏とのプロジェクトストーリー。子どもの遊びを真剣に考え、「施設の文化を育み伝え、物語が生まれる遊び場」を創りたいとの願いが、ファミリーが楽しめる住宅展示場という新たな環境で開花したプロセスなどを語って頂きました。

VOL. 15 改修工事現場における、安全・安心・美観を追及

株式会社国藤産業

防犯性の高さと
デザイン性が決め手に

弊社ではマンションやビル等の改修工事を行う際に居住者の方々を盗難、破壊、ゴミの投げ入れ、建物への侵入などの被害が起こる可能性から守るために現場での防犯対策に力を入れております。

防犯用になにか良いフェンスはないかと探していたところ、

弊社ではマンションやビル等の改修工事を行う際に居住者の方々を盗難、破壊、ゴミの投げ入れ、建物への侵入などの被害が起こる可能性から守るために現場での防犯対策に力を入れております。

社員から「このフェンスがいいと思います」と提案され、いくつかのフェンスの中からスカイフェンスを選びました。

スカイフェンスはパンチング加工で隙間が小さいことから防犯面での安全性が高いことや、従来の養生フェンスに比べて美観、デザイン性に優れていますと感じました。

社内で職人も交え、足場としての機能性、防犯性、安全面、外観になります。

また、従来の養生棒は目が粗く、マンションなど小さなお子様の多い現場では指などが入ってしまう、思いもよらぬ事故が起こる危険性もありました。そのため、安全面の観点からなるべく、美観性の観点からも、今後資材を調達していく中でスカイフェンスを増やしていくことを考えております。

弊社では、スカイフェンスを導入するにあたりとても丁寧に商品の説明をしていただきました。また、スカイフェンスだけではなく、その他の色々な資材について詳しい説明や、相談に乗っていただき、カタログなども手配くださいました。今後もよいお付き合いをしていただけたらと思っています。

今回、「建材ナビ」を通じて、中央ビルト工業様と出会い、資材関係の幅が広がりました。「建材ナビ」には建築資材の調達について幅広く様々な情報を共有していただき、親身になってご協力をしていただいている。とても感謝しております。

中央ビルト工業様と出会い、「建材ナビ」には建築資材の調達について幅広く様々な情報を共有していただき、親身になってご協力をしていただいている。とても感謝しております。

中央ビルト工業株式会社

工事中、
全ての人々の安全を守る
「スカイフェンス」

今回、国藤産業様に採用された製品は、マンションの改修工事等に使用される養生棒の『スカイフェンス』です。パンチング加工した高張力鋼板を使用していることに特徴があり、一般的な工キスバンドタイプの養生金網と比較して、美観に優れているだけでなく、凹凸がないため、小さなお子様が誤って触れても安全な製品となっています。

国藤産業様はスカイフェンスをもともと保有しており、職人加購入を検討いただきました。しかし、購入を検討するも、メー

ネット検索が結んだ
最適製品

ため、インターネット検索サイト「建材ナビ」を検索していたら当社のスカイフェンスに辿り着いたそうです。

ワーマンションに足場を使って窃盗団が侵入した事件がありましたが、この現場には侵入防止のための養生棒が設置されていなかったようですが、昨今シヨンの改修工事が増加することが見込まれていますが、昨今の事件等もあり、防犯面から養生棒も、より安全なものが求められるようになります。

ユーザーの要請に応じた、安価で利便性の高い製品を提供し続けることを使命としています。

販売推進部の人員増強により販売強化を図り、新規顧客開拓を推進。「お客様のニーズに寄り添う」ことを徹底し、共同開発等に注力して新商品開発を加速する。

コスト面では、次の3項目をクリアして行きます。

①一部製品の海外も含めたOEM製造による「コスト削減」
②資材供給体制（機材センター）の見直しによる間接コスト削減する。
③機材統括部設置により保有機材の効率化を図り、新規投資を抑制し、より筋肉質で利益の出せる体制を構築する。

「お客様のニーズに寄り添う」を徹底

主力の仮設機材事業において、

者だけでなく、マンション居住者の安全も守り、施工会社にも

加購入を検討いただきました。しかし、購入を検討するも、メー

国藤産業様はスカイフェンスをもともと保有しており、職人加購入を検討いただきました。

中央ビルト工業株式会社では、新規投資を抑制し、より筋肉質で利益の出せる体制を構築する。

中央ビルト工業株式会社
東京都中央区日本橋富沢町11番12号
03-3661-9631

沖 雅仁
販売推進部 部長
仮設業界で30年を超えるキャリアを誇る。長年の経験に裏打ちされた確かな知識と明るい人柄もあり業界内での人望も厚い。お客様重視の姿勢で信頼関係を構築することを心掛けている。

田村芳政
経営企画部 マネジャー
調理師と証券アナリストの資格を持つ異例の経歴の持ち主。中央ビルト工業株式会社では、経営企画から営業企画・営業支援・販売促進、主要材料の購買まで幅広い業務に携わる。仕入先からエンドユーザーまで人のつながりを大事にしている。趣味は株式投資と犬活。

株式会社国藤産業
東京都千代田区神田和泉町1-11-8 石垣ビル2階
03-5829-4072

後藤和也 代表取締役社長
大規模修繕工事をメインに建物の総合改修工事を行っております。建物に合った様々な工事をご提案させていただきます。

23 KENZAI NAVI Journal

KENZAI NAVI Journal 22

新たな時代に
適応する解決策を、
多様な選択肢から

MANUFACTURER



装飾材に「曲がる」という
画期的なインセンティブを
加える

みはし株式会社

和紙づくり職人を大切にし
日本の伝統文化を
届ける

株式会社和紙来歩

建材メーカーのこと、建材業界のこと、製品はどのように生まれるのか、施工実績がどのように社会に影響を与えるのか、ものづくり企業としての、苦労や喜びなどの想いをたっぷり語っていただきました。

建材メーカーへのインタビューは、建材ナビのインタビューコンテンツ「すまいリンク」でも同時紹介しています。

SumaiRing



新たな建材の使い方に挑戦 装飾材に「曲がる」という 画期的なインセンティブを加える



河野寧子

1995年みはし悌に入社。インテリアコーディネーターや設計士に面材の幅広い使い方を提案する。その後、大型物件の特注形状の積算を行ない数多くの製作図を手掛ける。「レイワシリーズ」や不燃材の立ち上げにかかわり、今は富伝部の任にあたる。

みはし株式会社

埼玉県和光市
白子 3-26-43
048-464-0384



寒冷地で育つた
木目が詰まつた丈夫な
モールディング材

今年8月新発売した木製モールディング材「サントニア」シリーズは、エストニアからの輸入品です。寒冷地でゆっくり育ったパイン材を使用しているため、通常のパイン材より木目が詰まっており丈夫で高品質です。フレキボードはそのまま平面

の壁へ施工することもできます。が、ベースがフェルトなため、裏に筋を入れると曲げることができ、アール面のようなカーブやウェーブの壁面にも対応します。また同シリーズには廻り縁、腰見切り、巾木、ドア枠として使える開口枠があります。専用のワイヤーを引っ掛けることで、壁に穴を開けずに絵や写真などを飾ることができる「デザイン性」に優れたピクチャーレールをご用意しました。また施工性

は WEBSITEより動画で公開して います。

装飾材「サンメント」の 開発から 半世紀のあゆみ

1973年、埼玉県和光市に



取り組み サステイナビリティへの

毎年発行している自社制作力
タログは F S C 認証紙、インク
は植物性を使い、印刷工程は再
生可能エネルギーを利用して製
造しました。

製品を確認できる
ショールーム





曲がる木製パネル「フレキボード」

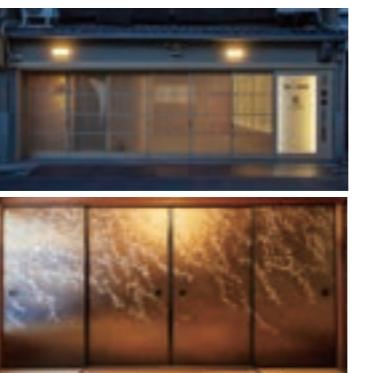
ベース裏面のフェルトに切り込みを入れると湾曲に曲がるのが特長。カーブやウェーブ面などアール状の壁面に沿って取付可能で様々な形が表現できる。

モールディングに
不燃という新たな
価値観を追加

弊社は、木材の欠点「燃える、腐る、狂う」を克服する新たな建材の開発に挑んでいます。従来の加工技術を生かし、1994年に不燃装飾材「サンメントセラ」を発売。内装用装飾材に不燃という新しい価値を加えました。（国土交通大臣不燃認定品）

NM-8578、NM-2086（6）

型物件などの特注品の製作に対応し、施工を手掛けるグループ会社、みはし工芸ではこの不燃材を多種取り扱い、「イメージを形に」をコンセプトに大型の特注形状を材工で行っています。有名化粧メーカーのディスプレイパネルや什器を納品させて頂いたり、本や映画や舞台で世界中のファンを熱狂させた、話題のテーマパークにも内・外装材に弊社のモールディング製品が使用されています。また、まもなくオープンする、某大手会



ショールーム高倉邸
彩紙 -SAISHI-

襖紙や和紙、和紙照明等を展示。伝統的な襖紙はもちろん、壁紙としても使える和紙やモダンなアートパネルなど、伝統の技が生み出す商品を間近で確認することができる。

弊社は、和紙で何が製作できるか、和紙でどんなことができるかを常に考えています。内装に使う紙、からかみ、襖、障子など和紙のものは言うまでもなく、襖の材料なども扱います。和紙来歩が提供している襖は、縁を漆の職人が塗つております。その職人と一緒にアートパネルを製作したり、和紙を使つたアートパネル作り体験イベントなども開催しております。また、布や糸などの染めに使われている「藍染」を弊社の紙で試してみようと、藍染職人の工房に和紙を持ち込み、ここ半
年くらいどのような染まり方をするのか、実験も兼ねて藍染体

藍染の和紙を
照明器具に加工する
取り組み

それ以来、私はお客様には必ず「和紙には定義がない」といふことを最初に伝え、原産地や原料の配合などもできる限りよく調べて、正しい情報を正直に伝えることを心掛けています。

「株式会社加徳」の創業者が建てた、築100年の京町家を、一軒丸ごとショールームにして日本全国や海外の設計士、建築家の方々が頻繁に訪れて来ます。1階と2階のほか、離れもある広いショールームの中は全て和紙で設えており、照明器具も見えていただけます。

築100年の京町家が
和紙のショールームに



可動式床間

湯島天満宮社務所の可動式床間。銀色に見える梅の柄は薄っすらピンクに色付いており、光沢ある銀も角度によって見え方が違う。



Merucure Hotel Kyoto Station
(メルキュール京都ステーション)

メインロビーに配された、折り紙の躰鞠は、熟練の紙漉き職人が一枚一枚漉き上げる手漉き和紙「オリジナル koyori 和紙」。

日本の美はしとやかに美しい
和紙づくり職人を大切にし
日本の伝統文化を届ける



加藤富美代
代表取締役
和紙プロデューサー

草木染め作家の父と、日本舞踊の師匠である母との間に生まれ、幼い頃から伝統文化や芸術にふれ、そして導かれるように和紙の世界を知り引き込まれて行く。和紙の魅力を知るほどに業界の厳しさも痛感することとなり、使命感を持ち2007年に株式会社和紙来歩を設立。

株式会社和紙来歩

京都府京都市
南区上鳥羽角田町 52
075-681-9123



今は、藍染の和紙を照明器具に使うための加工に取り組んでいます。そういうた、新しい取り組みは積極的に増やしております。

手描きの伝統技法で
実現した湯島天満宮の
「可動式床間」

京都にしかない伝統工芸を守り、その作り手を応援し続けて行きたいと思っています。そのため「和紙来歩」はこれからも未 来を見つめたチャレンジを続けて参ります。

和紙は100年の歴史を持つ和紙問屋の知識を受け継ぐ和紙の総合プロデュース会社で、日本全国の和紙を取り扱っており、お客様の用途に合わせてご提案しています。建物に合わせた内装材として、北海道から沖縄まで、全国の産地から繊細な和紙をご提案できることが強みだと

思います。
和というイメージから、和紙は日本製と思われがちです。ところが、海外から入って来た紙であっても和の表情があるものは「和紙」に分類されてしまい。これは「和紙」という言葉に定義がないからです。その定義がないことが原因で、17、8年前に、弊社の親会社である「株式会社加徳」は、産地を偽装されるという被害に遭ってしまいました。オリジナルの

和紙を製作している加徳は歴史ある紙問屋で、「桂」というブランド名で、襖紙や障子紙などを幅広く展開していました。美濃和紙という岐阜産の和紙を、加徳は年間に相当量販売しましたが、その美濃和紙が、実は高知産だったことが判明したのです。それまでの美濃和紙で築きあげて来たブランドが、産地が違うという理由で全て廃番となってしまいました。

和紙を製作している加徳は歴史ある紙問屋で、「桂」というブランド名で、襖紙や障子紙などを幅広く展開していました。美濃和紙という岐阜産の和紙を、加徳は年間に相当量販売しましたが、その美濃和紙が、実は高知産だったことが判明したのです。それまでの美濃和紙で築きあげて来たブランドが、産地が違うという理由で全て廃番となってしまいました。

木材の復権

東京木材問屋協同組合

木材をこよなく愛し、その魅力を知り尽くす木材のエキスパート達が集う、東京木材問屋協同組合。木材の復権をかけて「もっともっと多くの人々に木材の豊かなポテンシャルを伝えたい」という、熱い思いを語っていただきました。



木材の やさしさ・強さ・美しさを 具現化して魅せます

東京木材問屋協同組合 理事長
庄司 良雄

PROFILE

(しょうじ・よしお) 東京木材問屋協同組合 理事長
創立100年以上の歴史と伝統を誇る組合の理事長として、木のまち新木場において「木材会館」を運営すると共に、木材の優しさ・強さ・美しさを具現化したランドマークを通じて、都市建築における木材利用を推進している。

東京木材問屋協同組合
東京都江東区新木場1-18-8 木材会館
03-5534-3111



木材利用促進への 先駆的取り組み

秋葉 本日は、東京木材問屋協同組合の歴史および、「木材会館」について、その成り立ちや託す思いなどを組合理事長と幹部の方々に、それぞれのお立場からお話しを伺いたいと思っています。

庄司理事長 はい、問屋組合は明治39年に創立、今年で117年になります。私は21代目の理事長となり、歴代の理

事長を始め、組合員の方々が築かれた基盤と組合のご理解とご協力を得て、今のところ安定的に事業を継続しております。

とはいって、ここで117年間の歴史を全て話すことはできませんが（笑）、ちょうど100年という節目に、それ迄深川にあった木材会館をこの新木場に移転ということになりました。

そして、その際にどう建てる

なら100周年事業の一環として、業界の広告塔とすべく木材をふんだんに使った会館を作ることになりました。

リーダーというか先駆けの建物の集まりであり、組合員による組合員のための運営という方針に沿ってやっています。

の「木材会館」が完成したわけです。

秋葉 そうですか。では次に問屋組合さんの普段の活動の様子などを教えてください。

庄司理事長 はい、組合の中に10の委員会がありまして、い

るい的な活動やイベントなども企画し、参加してもらっています。

理事会はこの会議室で毎月開催され、各委員会の委員長が、その活動状況を報告することになっています。

岡田常務理事 イベントなども

大きいにやっていますよ。現在は全組合の約300人が7つの班に分かれており、組合から活動補助費も支給されており、各班で会議や勉強会・懇親会を行う等、組合員間での交流を深めています。

「口ナ禍にはやつていなかつたのですが、「木と暮らしのふれあい展」というのも木場公園でやっています。

最近になつてようやく、組合としても集まつたり動き出せるようになり、市場がどうなつて

21年になります。私は21代目の理事長となり、歴代の理

事長を始め、組合員の方々が築かれた基盤と組合のご理解とご協力を得て、今のところ安定的に事業を継続しております。

とはいって、ここで117年間の歴史を全て話すことはできませんが（笑）、ちょうど100年という節目に、それ迄深川にあった木材会館をこの新木場に移転ということになりました。

リーダーというか先駆けの建物の集まりであり、組合員による組合員のための運営という方針に沿ってやっています。

の「木材会館」が完成したわけです。

秋葉 そうですか。では次に問屋組合さんの普段の活動の様子などを教えてください。

庄司理事長 はい、組合の中に10の委員会がありまして、い

るい的な活動やイベントなども

企画し、参加してもらっています。

理事会はこの会議室で毎月開催され、各委員会の委員長が、その活動状況を報告することになっています。

岡田常務理事 イベントなども

大きいにやっていますよ。現在は全組合の約300人が7つの班に分かれており、組合から活動補助費も支給されており、各班で会議や勉強会・懇親会を行なっています。

「口ナ禍にはやつていなかつたのですが、「木と暮らしのふれあい展」というのも木場公園でやっています。

最近になつてようやく、組合としても集まつたり動き出せるようになり、市場がどうなつて

建材情報をトータル配信

“じっくり調べたい”を叶える



掲載数
800社
20,000製品

最新の建材ニュース、建材製品検索、製品動画やショールームの閲覧、業界記事、設計士や建材メーカーへのインタビューなど、建材業界のことなら「建材ナビ」にお任せください。

建築建材に関するコンテンツが盛りだくさん！



NEWS
新製品発売や、展示会の情報など業界ニュースを閲覧できます。



PRODUCT
建材製品の検索、閲覧、取寄せお問合せ等ができます。



MOVIE
動画で紹介している製品も多数ございます。



SHOWROOM
メーカー・ショールームを紹介。VRのショールームもあります。



INTERVIEW
設計士や建材メーカーの取材記事を紹介しています。



ARTICLE
建材に関する役立つ記事、業界のコラム記事等を紹介しています。



Q&A
製品や施工に関する悩みやアンサーを投稿できるフォーラム



OUTLET
不要になった建材製品のアウトレット販売をしています。

カタログの探しやすさに特化

“さくさく見たい”を実現



掲載数
4,900カタログ
23,000ギャラリー

「かたなび」はカタログの探しやすさにこだわりました。最新の建材カタログがすぐ見つかります。また選んだカタログはすぐ閲覧できて、他にも取り寄せや、相談・見積依頼も可能です。

施工ギャラリーからも探せます！

